

この選挙公報は、三条市選挙公報発行条例によって、有権者の世帯に配布されるものです。

投票日は4月17日です

みなんで投票しましょう

(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)

市民とまちをつなげます！

政策1. 人口を増やすための提言

- ・安心安全なまちづくり
- ・災害につよいまちづくり
- ・高齢化社会に対応したまちづくり

政策2. まちの魅力づくりの提言

- ・子育て世代が住みたくなるまちづくりへの支援
- ・地場産品の国際的ブランド力強化への支援
- ・安全で安心な農業・農地づくりへの支援
- ・国道289号線開通に向け観光資源への支援

政策3. 次世代へのハンドダウンに向けての提言

- ・財政再建に向け行政の効率化・民間活力導入を進めます
- ・DXを推進し市民の生活をより良い方向に進めます
- ・議会も経費削減に向け、議員定数の削減を進めます

重点目標 議員定数の削減！

*感染症対策を徹底した選挙戦を行う為、多数の集みや他市で感染拡大を起こした街宣車での運動は行いません



ばば
馬場ひろふみ

あきらめない!! 声をあげよう!! なにより命・くらし

地域医療

◎良くなると思って
いたのに心配...
52.7%

日本共産党三条市委員会の
「市民アンケート」の中間報告より

子育て支援に全力

- 国保税の子どもの
均等割を廃止・減税へ
- こどもは
学校給食の無償化を

医師を増やし、 余裕のある病床数に

負担増からくらしを守る

- 特養ホームの増設
- 払える国保税に
- 介護保険料の負担軽減

地域をまもる

- 下田体育館はボロボロ
大規模改修を早期に
- 欠かさず一般質問
議会報告を
お届けします

ロシアの侵略を国際世論で包囲を 憲法9条をいかし平和外交、核兵器のない世界へ



まこと
小林 (62歳)
日本共産党

新型コロナウイルス感染症禍、今こそ 自然との調和を大切に 医療・介護・教育・防災・福祉の 再構築が必要と考えます。

15年間の在宅介護の経験をもとに、高齢者福祉の拡充や、子育て支援の充実、教育環境の整備など誠実に取り組んでまいります。

7.13水害、7.29豪雨災害の記憶を風化させることなく信濃川など一級河川はもちろんのこと、各河川改修や市街地の内水対策事業の促進に向け、全力で取り組んでまいります。

(ものづくりのまち三条市)の産業創造や、経済活性化政策が有効に機能するためには、国道8号線をはじめ、国道289・403号線及び都市計画路線など都市基盤整備事業の促進が欠かせません。次期三条市総合計画の策定に積極的に取り組んでまいります。

まじめに働く市民の暮しに寄り添い、皆様の声を市政に届けてまいります。



自由民主党
西川しげおり
昭和二十四年七月十四日生まれ
村山連任代議士秘書
三条市議会議員(現)

「生まれて良かった、住んで良かった」と 言ってもらえる街づくりのために 三条市改良宣言。

岡本こうすけは、全力で働き続けます！

県内に「療育センター」を!
専門家が子どもや保護者に指導助言を行う「子ども療育センター」を県内に設置することを訴えています。

議会改革!平日夕刻・土日開催を!
仕事をもちたまま議員に立候補しやすい状況を作り出し、当事者としての意見を市政に反映できる市議会を目指します。

過半数確保!タブレット導入を!
過半数確保による十分な審議時間の確保と、タブレット導入による効率化を合わせて行うことで、緊急時に備えます。

デジタル化の推進
電子申請サービスを活用し、アプリ等を使用し、市民に行き届くことなく行政サービスを受けられるように取組みます。

防犯カメラの設置と
更なる増設を!
防犯カメラを増設し、子ども達の見守りを強化します。また、事件事故等にも防犯カメラを活用できるよう働きかけます。

移住支援事業の拡充
空きバンクだけでなく、「新築」「リフォーム」などにも積極的に移住支援を行います。

公共施設リノベーション
今ある施設を効果的に活用し、全世代が安心して使ってもらえる公共施設にリノベーションします。

スポーツコミッション設立と
スポーツ大会の誘致
多くのスポーツイベントを誘致するとともに、情報提供を行う「三条市スポーツコミッション」を設立し、来訪者が過ごしやすい環境を整えます。

プロフィール
1983年(昭和58年)10月21日 三条市生まれ
三条市立南小学校(現 南小学校)卒業
三条市立第一中学校(現 南中学校)卒業
新潟県立三浦高等学校 卒業
日本体育大学 卒業
会社員
家族・妻、小学生2人
三条市議会議員(1期)
三条市スポーツ推進委員(平成25年～令和3年/4期)
三条市スポーツ推進委員会委員(平成23年～25年/3期)
元フットサルボール西村代表



おかもと
こうすけ 38歳

現場の声を市民の声を市政につなぐ。

地場産業振興。

人口減少対策としての「三条市立大学」を支援し雇用、地場産業の振興と活性化につなぎます。都市計画道路ひいては広域道路網を含む主に道路を中心に都市計画を社会情勢の変化やまちの実態に即して見直すことを提言し未来につなぎます。

地域の安全、子どもは希望。

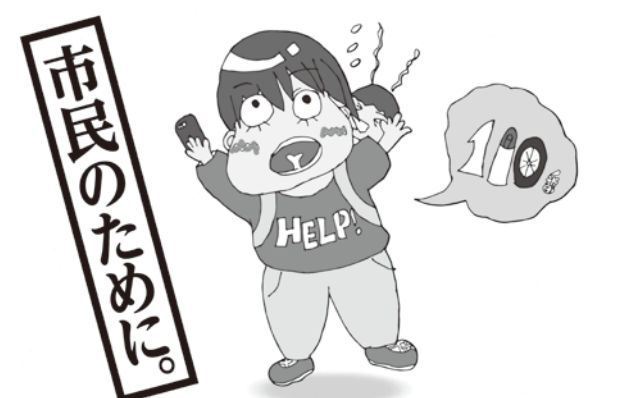
新型コロナウイルス感染症対策、自然災害対策を含む危機管理体制を提唱し地域の安全につなぎます。
子ども子育て支援の更なる拡充を推進し、希望である子どもたちが健やかに成長できる環境整備を訴え未来につなぎます。

議員定数の削減

社会情勢と地域性に見合った定数をきちんと議論し市政につなぎます。



おかだ
りゅういち
岡田竜一 (58歳)



子育て世代を泣かせません。

この8年間の成果
学校給食牛乳を復活させました。
「ドリンクタイム」廃止



ながはし
かずひろ
長橋一弘
昭和9年2月4日(旧三条市生まれ)00歳
三小・三中・三高卒業 旧三条市立第三中学校

新型コロナウイルス感染症対策

投票所では新型コロナウイルス感染症対策を行います。

- ・全ての投票所に消毒用アルコールを設置します。
- ・職員はマスクを着用し、手洗い、手指の消毒を励行します。
- ・消毒済みの鉛筆をお渡しします。鉛筆やシャープペンシルは持参もできます。
- ・投票用紙の記載場所は、一定の間隔を空けて、他の人との距離を確保します。
- ・投票所内は、適宜換気を行います。

次のことに御協力ください

- ・できるだけマスクを着用ください。
- ・手指のアルコール消毒、投票所内での咳エチケットに協力ください。
- ・並ぶときは、一定の間隔を空けてください。
- ・期日前投票所では、スムーズな受け付けのために、あらかじめ入場券の裏面にある宣誓書を記入ください。



帰宅後は手洗いをお願いします。

この選挙公報は、三条市選挙公報発行条例によって、有権者の世帯に配布されるものです。

投票日は4月17日です

みんなで投票しましょう

(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)

あべ銀次郎
三條市議会議員
三條市農業委員
保内小学校PTA会長

三條市保内八十九番地七十五号

いっしょに汗を流します
「皆さんと共に考える市政」を!

- 一、少子高齢化、人口減少社会への対応
- 一、地場産業の振興と活性化
- 一、教育環境の整備と青少年の健全育成
- 一、農地改革に対応できる農村経営基盤づくり
- 一、国道四〇三号バイパス塚野目代官島線より西側の事業化と信濃川下流橋の新設
- 一、市民が安全で安心して暮らせる市道及び生活環境の整備

たけいし栄二
えいじ

民意伝達人次世代へつなぐ

- ・八十里越え開通に向けた交流人口増加に伴う施設整備の推進
- ・農作物を鳥害獣から守る為の里山管理及び森林環境整備の推進
- ・緊急時にも対応できる安心・安全な道路環境整備の促進
- ・道路や河川修繕を迅速に行う為の包括的維持管理業務委託の促進
- ・子供達の通学路整備の促進、防犯カメラ設置等の安全対策の促進
- ・障がい者や高齢者が喜びを感じられる社会福祉環境の推進

※皆様の声を市政に届ける為、民意伝達人として
聴取→精査→決断→そして必ず実行して参ります。

たけいし栄二の目標

住民が安心して暮らせる環境整備
地域活性化
子供達を育成する地域住民の暖かい心と絆
融和と対話を基本とする住民参加型市政

むとつ 元美
もとみ
日本共産党

三條を もっと・ずっと
安心して子どもを産み育て
いきいき長生き暮らせる街に

- ◆均等割を廃止し、子育て世帯の国保税減税
- ◆学校給食の無償化
- ◆持続可能な地域医療を、市民と一緒に考える
- ①医師を増やし、余裕のある病床数に
- ②済生会病院を引き続き救急告示病院に
- ③国は医師の少ない地域への医師派遣制度の創設を
- ④基幹病院への便利な公共交通の整備
- ◆介護保険料の負担軽減
- ◆国民年金で入れる特別養護老人ホームの増設

子育て
暮らし
福祉

一緒に考え
一緒に動く

1957年湯沢町生まれ・東北福祉大卒
東北福祉大の障がい者施設に17年間勤務
三條市議会議員2期8年、ヘルパー2級
家族は夫、一男二女・犬・猫
東北成寺在住

山田とみよし
とみよし
昭和23年生まれ、燕工業高等学校電気科卒
平成22年三條市議会議員初当選

安全・安心に暮らせる街づくり
夢のある三條市へ

三條市の活性化
地元企業・商店への発注
空き家対策
人にやさしい環境整備

経験と実績を携えて!!

弱者と言われる人達に支援を
少子高齢化対策、子育て支援
福祉・障がい者施設への支援

社会資本の整備
大雨が降るたびに浸水する地域の早期改修
市街地の道路問題、歩道整備

白鳥賢
けん
生年月日 昭和46年5月19日(三條市大原生まれ)
血 型 B型
住 居 三條市大原地区
家 族 構成 妻・長男・長女
好きな言葉 / 人生の目標は常に「常に在り」

今こそ話そう、
このまちの**未来。**

稼ぐ農業
新潟の農政は曲がり角に来ています。
三條を産地として未来にむけて守ってゆくために行動します!

先を行く教育
三條の子どもたちに最高の教育環境を整えてあげたい。
すべての親の思いを背負って行動します!

対話するまちづくり
政治の原点は対話です。
「市民の対話によってつくられるまち」を目指して行動します!

大原小学校・大原中学校・県立三條東高等学校・秀明大学卒
東京都中央区に本社を置く大原建設に勤務・30歳で帰郷
社団法人三條青年会議所副理事長 三條青年会議所シニアクラブ会長
大原小学校PTA会長 三條市PTA連合会会長 三條中央商店街振興組理事長
三條中央商店街青年局長

のぎき久雄
ひさお

実行力!!
おもいやりの心で
市民のために

医療・福祉政策の充実→社会生活の基盤づくり
子育て・教育の支援体制の強化
地域経済の活性化→教育・医療・福祉・防災の基盤

昭和42年 新潟県立三條高等学校卒業
昭和50年 貿易会社設立 輸出業務を始める
昭和60年 富士教育研究会設立・代表
平成25年 (一社)おもいやり育英会設立・代表理事
※恵まれない子供に返済のいらない奨学金を給付
平成26年 三條市議会議員 当選
平成30年 三條市議会議員 2期目当選
※総務文教常任委員会委員長歴任 通信制 精華学園高等学校 三條校設立
※現在は、経済建設常任委員会委員長 三條地域水道用水供給企業団議長

みんなで行こう
明るい選挙


あなたの一票大切に

この選挙公報は、三条市選挙公報発行条例によって、有権者の世帯に配布されるものです。

投票日は4月17日です

みんなで行こう 明るい選挙

(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)



岩本 国幸

私の長所は、みんなの話と聞くこと。私の短所は、すぐに「ダメさる」こと。私は、みんなが素直にのびのびと生活が送れる世の中がいいと思います。私の好きな言葉は「みんな、なかよく」です。みなさまよろしくおねがいいたします。




西村 くにあき
西村金物店 専従社員
三条市音楽協会 会長
日本維新の会公認候補

選挙をしましょう！
民主主義は選挙によって成り立つものであり、無投票当選は必ず阻止しなければならぬという思いで立候補しました。

私は四十三年前に渡り、商店街で金物屋を営んで参りました。この地を愛する気持ちはだれにも負けません。人口減少はこの三条市においても深刻な課題であり、子育て支援をはじめとした福祉施策の充実により、市民が暮らしやすい三条市を目指します。また、三条市議会議員の定数は二十二名となっていますが、私は「身を切る改革」を掲げ、定数削減及び自身の報酬も一部カットする覚悟で臨みます。

その他、以下の政策を掲げ、しっかりと取り組んで参ります！

- ①芸術・文化の振興
- ②三条市の地場産業の活性化
- ③高齢者福祉施策の充実
- ④農業の活性化及び後継者の確保
- ⑤市民の命を守る新型コロナウイルス対策の強化
- ⑥信濃川下流橋の建設
- ⑦改革保守政党「日本維新の会」及び「新潟維新の会」の政策推進



佐藤 かずお
三条市泉新田六十

地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化・住民意識や価値観の多様化、高度情報社会の到来など変化しており、地方財政は厳しい状況にあります。三条市が市民の信頼と負託に応えて施策を展開するためには、財政基盤の強化とともに事務・事業の見直しに取り組み、行政運営の簡素化・効率化に努めるべきと強く感じています。声なき人達の代弁者として努力いたします。皆様方の力強いご支援とご協力を心よりお願いいたします。


- ◎青少年健全育成のため努力します。
- ◎住民主体の町づくりをめざします。
- ◎芸術・文化が暮らしの中で発展するようさらに努力します。
- ◎災害に強い町づくりをめざします。
- ◎農業・工業・商業の活性化のために努力します。



酒井 つよし (58)
農業
昭和38年10月4日生
加茂農林高校 農業土木科
中央工学校 土木建設課
元三条市役所職員
三条市議会議員 2期

あかり(希望)がもてる「まち」をめざして
病気になるっても年をとっても安心して暮らせる社会の実現！
58歳 3期目の参戦です！

自立できる中山間地農業政策の実現！
合併の効果が実感できる政策の実現！



つばめ ゆきお (54歳)
公明党公認
三条市立一ノ木戸小学校
県立吉田商業高等学校 卒業

三条の力に！
つばめ ゆきお は目指します

- ※誰もが働きやすいまち
 - ・女性や若者の声を聴きサポートを強化
 - ・地場産業の魅力を発信し新たな雇用を
 - ・高齢者や障がい者の就労を支援
- ※誰もが安心して暮らせるまち
 - ・地震や水害対策のさらなる推進
 - ・老朽化した道路や建物などを改修
 - ・交通安全対策を強め安心の通学路を
- ※誰も置き去りにしないまち
 - ・子育て世代の負担を軽減
 - ・頼れる教育環境の充実
 - ・高齢者の心と体の健康を促進

モットー
“一人ひとりの幸せ”と
“希望あふれる未来”のために



内山 信一 (54歳)

一人ひとりが幸せを感じられる街に！

- 市に対する要望事項の実現
- 福祉の充実
- 農業を守る(米価下落反対)
- 原発再稼働反対
- 旧あいでん本成寺店南店の再開
- 曲淵第2ポンプ場の改修
- 島田川護岸の改修

●昭和45年 3月 私立暁星商業短期大学卒業
●昭和45年 4月 三条市役所に勤務
●平成21年 3月 三条市役所定年退職(勤続39年)
●平成21年より三条市文化団体協会三条支部事務局長等11年
●令和 2年11月 三条市議会議員



あなたの一票大切に



みんなで行こう
明るい選挙


この選挙公報は、三条市選挙公報発行条例によって、有権者の世帯に配布されるものです。

投票日は4月17日です

みんなで行こう 投票しましょう

(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)

一人一人がまちづくりアイデアを気軽に語る
「語り場」を定期的に開催します♪




ワクワクする三条へ!!

1 たくさんの人が集まるまち、三条へ!
空き家を活かしたプチ移住の促進、本寺小島の観光地化、アウトドアタウンとしての情報発信等、独自の強い施策を推進します。市立大学・看護医療専門学校を核とし、地元企業と連携して若者の定住を促進します。


2 安心して意欲高く働けるまち、三条へ!
異業種間のコラボによる商品開発支援、中心市街地空き店舗を活用した起業支援の拡充等、地元農業・地場産業の新たな挑戦を積極支援! 物流の大きな時間的経済損失を伴う災害対策として、外環道の整備を促進します。

3 子育て世代と高齢者にやさしいまち、三条へ!
子ども医療費助成の拡充等、将来を担う子どもたちを育てる公的支援を拡げます。子どもと高齢者が触れ合う地域コミュニティへ、児童クラブの充実など、子育て世代が安心して働ける環境づくりに働きます。



竹山 よしかず
(無所属・41歳)

大崎小学校、第一中学校、三条高校、
拓殖大学政経学部政治学科卒業、
森ゆうこ参議院議員秘書、
クエックプラス代表。



森山 昭
(71歳)

三条市員職新田二一七〇
加茂農林高等学校卒業
三条市議会議員兼副議長

豊かで住みよい 三条市のために

- 基幹病院に通じる道路網の整備
慢性的に発生する道路渋滞の解消
- 転換期を迎えた農業問題
特に後継者問題は深刻
- 安全・安心災害に強いまちづくり
農地の多面的機能を災害対策に活かす
- 高齢化社会に対応した町づくり
子育て支援や教育環境の充実

一人の元気が みんなの元気に!



ささがわ しのぶ(信子)
(57歳)


大崎小学校・中学校・三条高校
新潟大学医療技術短期大学部
卒業

★これまでの実績!★

- 幼児教育・保育の無償化
- 東三条駅構外トイレの
利便性推進と改修実現
- 子宮頸がん予防の周知と
ワクチン推進
- 気軽に認知症チェック
できるように、市の
ホームページに簡易
チェックの実施を可能に
- 子どもの医療費の助成
拡大を推進
- 期日前投票の利便性が
向上

ささがわ信子は目指します!

- 安心と住み心地が良い
三条市へ!
⇒デマンド交通の拡充
⇒新婚生活支援事業の推進など
- 医療・福祉の促進で
健康(健康)な三条市へ!
⇒障がい者の相談支援体制の強化
と通所施設の拡充など
- 子どもたちの未来輝く
三条市へ!
⇒小中学生にオーケストラ演奏を
聴く機会の提供
⇒子宮頸がんワクチンの積極的
勧奨など
- みんなで作る三条市へ!
⇒若い世代の政治参加を促進し、
意見を聞く仕組みづくり



坂井 りょう
(51歳)

加茂農林高校・法政大学経済学部
(通信)卒/三条民主商工会事務
局長・農家組合長・福島新田甲区
長など歴任/普通師範・剣道3段

しっかり発言 きちんと報告 提案し 実行します

日本共産党

みなさんと力をあわせて、実現しました

- 農業者への農機具
購入助成
- 住宅リフォーム
助成制度の創設
- 安全な通学路へ
防犯カメラの設置
- 子どもの医療費助
成を高校卒業まで
拡充
- 国保税の子どもの
均等割を半額に

こんどは…

- 地域医療の計画を
医師をふやす計画に
医師をふやす計画に
- 特養ホームの増設
- 介護保険料の負担軽減
- デマンド交通の拡充
- 子どもの国保税は
均等割の廃止で減税へ
- 学校給食の無償化を
- デコボコ道路の改修促進

安全な食料は日本の大地から! 農業を守ります
コメの戸別所得補償制度復活!



あなたの一票大切に

この地域の 未来を考える

農業の未来を考える
医療・福祉の未来を考える
市民の声を未来に届ける



藤家 貴之
(43歳)

ふじいえ たかゆき

1979年1月8日生まれ
長沢小学校、下田中学校、三条商業高校、
アップル外語観光力レゾ卒業。
家族経営の金属加工業に従事。
2017年からは稲作に力を入れ、
2022年現在約13町歩を作付け。
下田商工会青年部長、
長沢小学校PTA会長を歴任

●家族：妻、長男、長女、次男、父母、祖母
●資格：総合旅行業務取扱主任者、
大型二輪免許、大型特殊免許など
●趣味：F1観戦、ゴルフ

みんなで行こう 明るい選挙



あなたの一票大切に



あなたの一票大切に